



「ステハジ」プロジェクト  
さあ！みなんなでサステナブルはじめよう



# 会社概要

社名: 株式会社OSGコーポレーション  
(東証JASDAQ: 6757)

本社: 大阪市北区天満 1-26-3

代表者: 代表取締役会長兼CEO 湯川 剛  
代表取締役社長 山田 啓輔

設立: 1970年8月29日

社員: 504人 (グループ)

事業: 水の総合メーカー

主要 ① (株)OSGウォーターテック (水関連機器の製造)  
連結 ② (株)ウォーターネット (水宅配事業)  
子会社: ③ (株)銀座仁志川 (フランチャイズ事業)





# 家庭用ウォータークーラー



# 自販機 業務・産業用





## 「ステハジ」プロジェクト

“使い捨ては恥ずかしい”という考え方を通して  
誰でも(Everyone) (子供から高齢者・企業・自治体など)、  
毎日(Everyday)どこでも(Everywhere)少しの意識と行動で、  
海洋プラスチック問題や使い捨てから生まれる、その他様々な社会課題を  
個人・企業・自治体が一体となって啓発・実践し  
みなさんと一緒に行動変容に取り組むプロジェクトです。

「さあ、みんなで サステナブル はじめよう」



※ステハジプロジェクトはOSGコーポレーションの商標登録です

専門的な知識や情報がなくても、子供から高齢者まで、全ての世代が一緒になって取り組める



## 貧困を無くそう

- ・映画「セカイイチオイシイ水」企画
- ・公益社団法人アジア協会とのコラボレーション
- ・プロジェクトのチャレンジ達成により、アジアへの井戸寄贈



## すべての人に健康と福祉を

- ・マイボトル普及によりこまめな水分補給をするライフスタイル
- ・健康マスター検定100%取得
- ・「健康経営」への取り組み

## パートナーシップで目標を達成しよう

- ・マイボトルパートナー
- ・万博共創プログラムとしてチャレンジの創出



## 安全な水とトイレを世界中に

- ・無料で給水できる「給水スポット」を全国に
- ・ニッポン全国オアシスロード



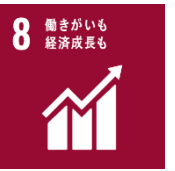
## 海の豊かさを守ろう

- ・ペットボトル50億本削減チャレンジでゴミ削減
- ・マイボトル普及活動
- ・海ゴミアワードのチャレンジ



## 働きがいも経済成長も

- ・ステハジプロジェクトの実施で社会貢献意識を高め日々の仕事のモチベーションUPに



## 気候変動に具体的な対策を

- ・こまめな水分補給ができる街のオアシスを拡大していく
- ・ペットボトル削減活動によりCO2削減
- ・熱中症声かけプロジェクト



## つくる責任 つかう責任

- ・使い捨ては恥ずかしいという考え方を啓蒙
- ・「ステハジ」をテーマにしたモノづくり・企画

**800万t/年**  
プラスチックごみが海洋に流入

プラスチックの量が  
魚の量を超える

コロナ禍で  
温室効果ガス **8%** 削減を実現  
これを10年継続することができなければ

ホットハウス・アースへ  
異常気象 制御不能

〈宣言〉



## 使い捨てプラ25%削減

※環境省：2019年「プラスチック資源循環戦略」



## 気温上昇1.5°Cに抑える

※パリ協定：2015年「国連気候変動枠組条約」

世界が直面する社会的問題に対して OSGは・・・



1 「ステハジ」プロジェクト  
「ペットボトル50億本削減」チャレンジ



2 「ステハジ」プロジェクト  
「みんなで広げる給水スポット」チャレンジ



1 「ステハジ」プロジェクト  
「ペットボトル50億本削減」チャレンジ





年間ペットボトル244億本 生産



ペットボトル市場

新たな市場

喉が渴いたらペットボトル購入 → 新たな日常（未来）に向けて

14 海の豊かさを  
守ろう



## 「社会貢献型商品」の普及で削減

電解水素水／ウォーターサーバー／冷水器／  
アルカリ自動販売機 などの社会貢献型商品を  
自宅や、職場・学校、いつものドラッグストア、  
お気に入りの飲食店や美容室。  
いつでも、中身が無くなれば給水する。  
そんな、新たな日常（未来）のスタートです。

社会  
貢献型  
商品



13 気候変動に  
具体的な対策を



## 脱炭素(CO2)問題について削減



ブナの木がCO<sub>2</sub>を削減!  
私たちも一緒にCO<sub>2</sub>を削減しよう!

14 海の豊かさを  
守ろう



## 「マイボトルでの飲み物の持ち歩き」 の普及で削減

エシカルな習慣が日常に。

喉が渴いたら、無意識に「ペットボトル」を買っていた。

そう、つい昨日まで、意識せずに、コンビニやスーパーで、

ペットボトルを選んでいただけ、

ちょっと、マイボトルを持ち歩いてみると

**経済的で、ごみにもならない。**

(家庭に溜まるペットボトルの管理もなくなる)

**そんな、新たな日常（未来）のスタートです。**



表3 「マイボトルを持ち歩く理由は何ですか」 についての回答

	全体 (1624)	男性 n=881	女性 n=743	男女差
	(%)			
どこでも好きなときに飲めるから(移動中など)	63.1	62.4	63.8	1.4
ペットボトルや缶飲料を買うより経済的だから	52.8	48.8	57.5	8.7
自分の好きな飲み物を持参できるから	49.0	48.0	50.2	2.2
保温・保冷ができるから	31.5	29.4	33.9	4.5
熱中症対策・水分補給のため	27.8	24.2	32.0	7.9
エコ(環境)のため、ゴミ削減のため	26.5	23.5	30.1	6.7
ペットボトルや缶のゴミを捨てるのが面倒だから	10.3	10.2	10.4	0.1
カフェでテイクアウトのドリンクが割引になるから	4.4	4.5	4.3	0.2
オシャレだから	1.8	1.7	2.0	0.3
その他	1.4	1.8	0.9	0.9

男女差青字・・・男性のほうが数値が高い

男女差赤字・・・女性のほうが数値が高い

マイボトルに関する意識調査の結果(調査:株式会社ブラネット:2020年1月)

14 海の豊かさを  
守ろう



## 学校関連との連携 「子供たちとの共創」で削減

多くの子供たちは、毎日学校に通うときには、  
「マイボトル」を持って通学しています。

朝、子供に「水筒持った？」の声

あれ？ 大人は毎日持ち歩いているのかな？

子供たちが「SDGs子供先生」になって大人たちへ、SDGsへの啓発。

「大人たちには一番効果的」かも知れません。

出張事業などでの子供たちへの啓発。





## 「ステハジ」プロジェクト 2 「みんなで広げる給水スポット」チャレンジ

## 「みんなで拡げる給水スポット」チャレンジ

自宅や、職場・学校、

いつものスーパー・ドラッグストア、

お気に入りの飲食店や美容室。

いつでもどこでも、マイボトルの中身が無くなれば給水する

そんな、新たな日常（未来）のスタートです。

仕事先なら自社はもちろん、

訪問先の取引先でも給水させてもらう。

学校で無くなれば学校で給水する。

**給水スポットの普及で給水の輪を拡げ、**

**新たな日常（未来）持続可能な社会を目指します。**





## 私の給水スポット

自宅が給水スポット

いつでも

出かけるときには

マイボトルに飲み物を給水



## 私たちの給水スポット

職場やお取引先など

気の知れた仲間が、

マイボトルの中身が無くなれば

給水できる場所



## みんなの給水スポット

誰でも給水できる場所

どこでも給水が当たり前、

ドラッグストア・飲食店・複合施設などが

給水場所へ

## 「給水スポット」を給水サイトに登録

給水スポットとして給水サイトへ登録しよう。  
それは、私の、私たちの「地域貢献」につながります。  
いつでも、どこでも給水できるエリアが広がれば、  
「ごみ削減・顧客満足・ブランド向上」につながります。



## Water Map

外出先で一番近くの給水スポットを紹介してくれるWater Map。「ペットボトルを買う」から、「無くなれば給水する」へ。新しい日常(未来)のスタートです。



こちらから  
アクセス！



<https://mizumap.jp/en/>

マイボトルにお水を  
給水できる場所を確認!

飲んだ水の量!

日本初無料給水アプリを  
すぐダウンロード!

App Store  
からダウンロード

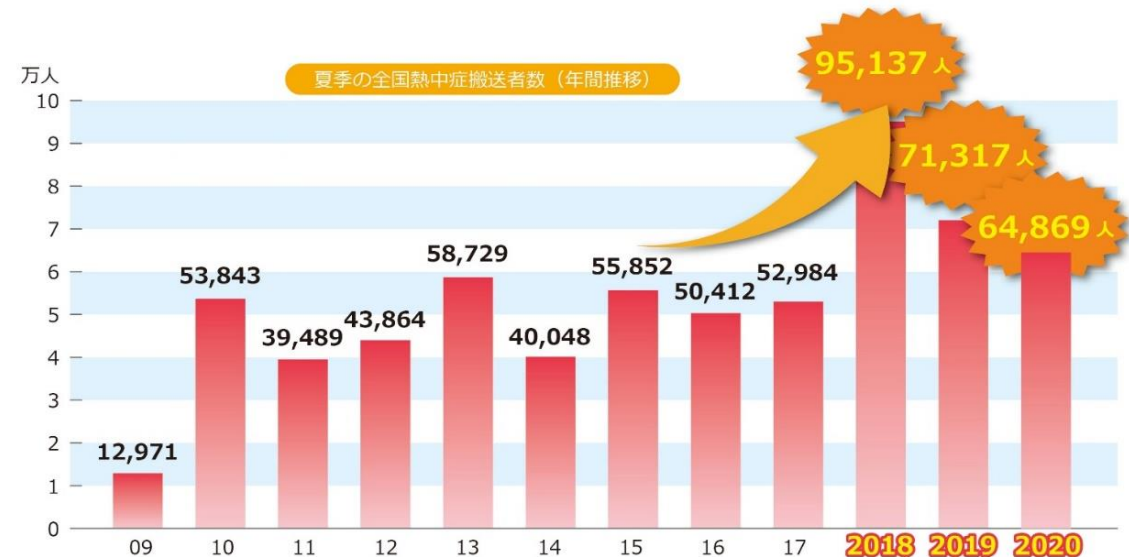
Google Play  
でダウンロード

使い捨てボトルの代わりに、  
マイボトルを使うことによって、  
どれだけ環境に貢献できたのかも分かる!



## 「夏の社会的健康課題“熱中症”」の予防対策に

熱中症は、  
 2015年以降、5万人を超える人達が緊急搬送されています。  
 しかし、熱中症は誰でも対策を行えば予防ができます。  
 その対策の一つに「こまめな水分補給」を行うことは欠かせません。  
 いつでも、どこでも給水できる環境は、  
 熱中症対策にもつながっています。



※2009～12年は7～9月、13～14年は6～9月、15～19年は5～9月の統計。（総務省消防庁資料より 2020年）



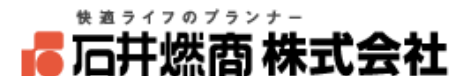
「ステハジ」プロジェクト

「ペットボトル50億本削減」「みんなで広げる、給水スポット」チャレンジ

共創メンバー



“使い捨ては恥ずかしい”という考え方を通して  
誰でも (Everyone) 毎日 (Everyday) どこでも (Everywhere)  
少しの意識と行動で、海洋プラスチック問題や使い捨てから  
生まれる、その他様々な社会課題を、個人・企業・自治体が  
一体となって実践するプロジェクトです。





TEAM  
EXPO  
2025

大阪・関西万博

「TEAM EXPO 2025」プログラム 共創チャレンジ

# 「ステハジ」プロジェクト スタートミーティング

■主催：株式会社 OSG コーポレーション EXPO2025 プロジェクト

■後援：公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会



岡島 美佳

公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会  
広報戦略局 戦略事業部 戦略事業課 参事



マクティア マリコ

一般社団法人 Social Innovation Japan  
代表理事 / mymizu 共同創設者



西野 尚至

象印マホービン株式会社  
広報部 部長



金子 真也

八尾トヨヨー住器株式会社  
代表取締役社長



今中 泰俊

八尾トヨヨー住器株式会社  
SDGs 推進リーダー

2021.8.7 (土) 16:00-17:00

参加無料

2 飢餓を  
ゼロに



9 産業と技術革新の  
基盤をつくらう



1 貧困を  
なくそう



5 ジェンダー平等を  
実現しよう



3 すべての人に  
健康と福祉を



12 つくる責任  
つかう責任



15 陸の豊かさも  
守ろう



6 安全な水とトイレ  
を世界中に




7 エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに



10 人や国の不平等  
をなくそう



8 働きがいも  
経済成長も



14 海の豊かさを  
守ろう



11 住み続けられる  
まちづくりを



16 平和と公正を  
すべての人に



4 質の高い教育を  
みんなに



17 パートナーシップで  
目標を達成しよう



13 気候変動に  
具体的な対策を

